

マルチドメイン・オペレーションに至った背景
ーキャプストーン・ドクトリンから読み解く米陸軍の戦後の用兵思想の変遷ー

菅野 隆（教育訓練研究本部 研究部直轄研究員）

【本研究について】

本研究は、現在の新たなコンセプトとして具体化中のマルチドメイン・オペレーションに至った米陸軍の第二次世界大戦後の用兵思想¹の変化の背景を、キャプストーン・ドクトリン²の変遷から読み解くこと目標としたものである。実施にあたっては、陸軍種の視点を基本としつつ、必要により政治レベル、戦術レベルまで幅を拡大し、「米陸軍のキャプストーン・ドクトリン改訂の契機は、米陸軍が関係した戦争の教訓である。」との仮説の検証を通じ、米陸軍のドクトリンの歩みと、関連する（戦争を含む）各種イベント等との関係を明らかにする。本研究の要約版は、雑誌「修親」に掲載されている（目次参照）。

目 次

目 次	対象となる ドクトリン	シリーズ回	要約版の修親掲載号	
1 緒 言	—	第 1 回	令和 2 年 8 月号	掲載
2 マルチドメイン ・オペレーション	2016, 17	第 2 回	令和 2 年 9 月号	掲載
3 冷戦黎明期	1949, 54, 62	第 3 回	令和 2 年 10 月号	掲載
4 ベトナム戦争期	1968	第 4 回	令和 2 年 11 月号	予定
5 冷戦後期	1976, 82, 86	第 5 回	令和 2 年 12 月号	予定
6 ポスト冷戦期	1993, 2001, 08, 11	第 6 回	令和 3 年 1 月号	予定
7 総 括	—	第 7 回	令和 3 年 2 月号	予定

¹ 用兵とは、「戦での兵の動かし方」（大辞林（第 3 版））であり、用兵思想とは用兵にあたって軍事組織が採用している全体及び個別の原則や考え方を指す。

² キャプストーン・ドクトリンとは、軍事組織のドクトリン体系の頂点に位置するドキュメント、あるいは、そこに記述される原則や考え方。本論文では「規準教範」と訳し、陸上自衛隊においては教範「野外令」が相当